

事務事業チェックシート

事務事業No
1190

事業名
前向き子育てプログラム推進事業

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生き育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生き育てることのできる環境の整備
取組方針	3	保護・援助を必要とする子供への支援

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	児童福祉費		
	目	児童福祉総務費		
	大事業	児童福祉総務事業（こども総合支援センター）		
	中事業	前向き子育てプログラム推進事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel
事業実施の根拠法令	児童虐待防止法		関連課	こども総合支援センター 和田 孝司 402-7830

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要		
	虐待防止につなげるセミナーやグループワークの開催及びファシリテーターの養成等を行う。		増加する児童虐待の未然防止を推進するため、前向き子育てプログラムによる子育て方法を紹介し、セミナーやグループワークの開催等を通じ、子育て世帯に適切な養育をするための子育て方法の普及を図る。		
事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
	不適切な養育をしないように、適切な子育て方法を啓発し、虐待予防につなげるために前向き子育てプログラムの普及を図る。	不適切な養育をしないように、適切な子育て方法を啓発し、虐待予防につなげるために前向き子育てプログラムの普及を図る。	不適切な養育をしないように、適切な子育て方法を啓発し、虐待予防につなげるために前向き子育てプログラムの普及を図る。	不適切な養育をしないように、適切な子育て方法を啓発し、虐待予防につなげるために前向き子育てプログラムの普及を図る。	不適切な養育をしないように、適切な子育て方法を啓発し、虐待予防につなげるために前向き子育てプログラムの普及を図る。

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,124	2,124	1,464	1,464	1,464	1,129	1,464	0	1,464	0
伸び率（%）	209.2%	209.2%	△31.1%	△31.1%	0%	△22.9%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,195	3,981	3,103	3,414	3,291	3,291	2,992	0	2,992
	正規職員以外	542	1,604	918	895	1,203	1,180	1,112	0	1,112
	小計	1,737	5,585	4,021	4,309	4,494	4,471	4,104	0	4,104
国庫支出金	1,061	1,062	732	750	732	732	732	0	732	0
県支出金	530	530	366	375	366	366	366	0	366	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	533	532	366	339	366	31	366	0	366	0
所要人数 （人）	正規職員	0.15	0.50	0.40	0.44	0.44	0.44	0.40	0.00	0.40
	正規職員以外	0.25	0.74	0.40	0.39	0.53	0.52	0.49	0.00	0.49
主な予算内訳	前向き子育てプログラム推進事業1464千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
講座開催数		回	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	3	
			達成度(%)	100.0%	100.0%	75.0%	%
参加人数		人	目標値	48	48	48	48
			実績値	29	18	10	
			達成度(%)	60.5%	37.5%	20.9%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	虐待予防の啓発と子育て不安の解消に必要
見直し・改善内容	子育て不安解消のため、講座を継続し啓発していく必要がある。